

24/3/22 特別史跡名古屋城跡全体整備検討会議（第59回）
名古屋市民オンブズマンによるメモ

13:00

岡田整備室長：始める

上田所長：こんにちは

寒い中出席ありがとうございます

今年度最後の全体会議

令和5年度4回開催した

委員の皆様の意見を反映して一步一步進めている

先日2月 バリアフリー市民討論会 検証委員会中間報告

しっかり受け止めて 今年の後半最終報告が出されると聞いている

反省と取り組み

本日 水堀他4件

報告も

岡田：出席者紹介

瀬口、丸山、赤羽、小濱、三浦、藤井 渋谷、平澤、小川

麓欠席

教育委員会、名古屋城

撮影、録音はここまで

構成員には本年度の検討一覧、現状変更一覧配布

瀬口：水堀

名古屋城：12月58回付議、1月石垣部会で承認

変更点のみ

・波止場 西だけではなく東側も調査を

東側 試掘調査

・南側に拡張したい 「堀のしきり」

13:12

瀬口：質問は

小濱：資料「堀のしきり」

現在の資料は

名古屋城：投影データ 絵図上南波止場

1610年 今より内側

1697年 今より内側

1782年 今より内側

1819年 今の位置に境界 慶長期のものを写した
当初から境界があった？

小濱：2か所推定 根拠がある

瀬口：他には

1819年蓬左極秘図 10間しきり？ 17間は？

名古屋城：搦め手石垣の東面の丁場割を示している

瀬口：10間は堀の上？下？

下に見える

靖国神社のやつ 区別して書かれていない

名古屋城：数字はあっていない

10間は堀の幅 19.7m 実際は10m

搦め手馬出 雁木書いてあるが施工されていない

藤井：1819年 慶長を写した

元の図では下に書いてある 資料3

10間は丁場割ではない

1819年 丁場割に見えるが、根拠にするのは問題がある

当時を反映したのか、間違えた可能性？

確かな記録を探した方が

瀬口：確かな文書を見つけてから判断すべき？

藤井：発掘して確認して 進めて

瀬口：文書はあるが、発掘調査してより真実に進めてという意見

13:26

大村：建造物等保存活用計画

瀬口：乃木倉庫 明治13年完成

大村：明治初期建造

陸軍に記録残っていた

防衛省アジア歴史

瀬口：総合調査 改修した？

大村：小修理は今年度もやった

瀬口：ここだけ記載少ない

資料6 令和6年 西暦も併記して

建造物部会で今後議論

天守台及び周辺石垣

13:36

名古屋城：資料3

U65 保存対策

来場者導線

濃尾地震後の積みなおし、全体的改変

(1) 間詰石の締め直し、補充等

樹脂系の補修材→しない

鉄筋(丸鋼)に

(2) 破損石材の修理

擬石処理→とりやめ

来年度 有識者現地に行ってお指導を

13:40

瀬口：質問は

小濱：対策はなかなか難しい

具体的にこれでできるか？わいてくる

間詰石締め直し、補充 石垣面すかすか

1) 間詰石あった？もともとなかった？

2) 袋に入れた小石で充填 すきまから難しい？

モルタル充填

3) 鉄筋挿入 2 m程度 打ち込めるか？

50mm径なら

搦め手馬出積みなおし 20-30センチ栗石 打ち込めるか？

無理に入れて栗石破壊する？

名古屋城：

1) 本来は？

当初と現状は違う可能性が高い

築城時の石垣に近づける なかなかできない

類似石垣 前田家が積んでいる 名古屋城内を観察

東側観察 近づけるように

2) 袋に入れた栗石

奥に隙間 栗石を入れる

できるだけ隙間を詰める

間が小さく、栗石が入られないとき、「袋に詰めた」

固まりとして入れたい

袋に石とモルタルを入れて、奥に入れられる

モルタル固まってコンクリートと同等

3) 鉄筋

2m レーダー探査

栗の厚みを2m想定

入らないかも→無理はしない 石垣を破壊することはないように

ある程度入るところを観察して場所を決める

小濱：難しいやりかた

間詰石の役割 安定性を増す

建築工学 私はわからない

鉄筋 入らない場合、どうしたものか

数を増やすのか

名古屋城：3ページ緑色丸印

たくさん入れればいいものではない

多少ずれてもよい

小濱：難しい問題

効果があるかはわからない

経年か地震が来たらわかる
手を尽くす

三浦：3つ聞きたい

間詰：築石どうしが接している あいばとあいいし
隙間 お化粧で入れるもの
表面抜けているとみっともない
間詰が抜けても強度さほどかわらない
しないよりはまし

間詰の入れ方 二の丸 前田家丁場を参考→しないほうが
「石材はよろしくない 二の丸に使うべし」
できの悪いのは二の丸

エポキシ樹脂：有機樹脂 耐用年限が短い 紫外線20年で劣化
50年もてば永久？20年でよい？

文化財は100年もたないとだめ

根本原則 間違った修理 後世に直そう 可逆性 エポキシ樹脂は取れない
不可逆的なやりかた もっともよろしくない

エポキシ樹脂 高い毒性 発がん性 環境ホルモン

セメント系を使うのが一般的 技術がいる、業者が少ない

発注者の研究不足

広島市原爆ドーム コンクリートひび割れ エポキシモルタル→セメント
施工業者が工夫した

業者を指導すべき 業者の意見を信用すべきでない

鉄筋：小濱先生がおっしゃる疑念がある

関連論文3つ 学会の口頭発表会 1-2頁

学会として、研究者として認められたものではない

口頭発表程度は使ってはいけない 原本付けて

いろんな懸念 3ページ 緑色の点

1.5m間隔 入れ方の理屈 不足している

多少前後に移動 説明をして

名古屋城：鉄筋の位置 決め方

- ・入れられる空間があるか
- ・まんべんなく均等に
- ・1.5m間隔で
- ・専門の先生と相談

三浦：入れられそうなところ、専門の先生 どういったのか？

隙間 あいいし 間詰が落ちたところ
あちらこちらに入れられる？均一じゃない

名古屋城：たくさん入れれば締まる？そうではない

三浦：だから 1.5m？

名古屋城：モデル 2 平米に 1 本が適当？

現場 等間隔で打てるか？ 石垣を見ながらここなら入りそう 緑色で塗った

三浦：一生懸命決めたのだろう

瀬口：実験で鉄筋は入れられる

「一定の効果」があった？論文そのものを出して
裏付けを出して

エポキシ樹脂 何回も言ってもなぜ変わらないか
方針を決めてほしい 石材の補修 賛成はいるか？0 人
反対は？3 名

よくわからない 2 人

反応なし 1 人

「今後使わないようにして」有識者の意見

使うようなら理由を言って

昭和のはじめに開発 建造物では「まずい」

石材 御深井丸 補修はセメント系 名古屋城総合事務所は見ている

実証実験されている

名古屋城内エポキシ樹脂つかったことはあるか？

あるなら検証を

名古屋城：勉強不足で申し訳ない

瀬口：鉄筋 論文出して

間詰石は「化粧」 石垣強化に寄与 そんなに急いでやる必要があるか？

名古屋城：間詰石 多少の効果は、いれないよりはまし

できる限りをやろう

瀬口：効果がないことを否定するのは難しい
針小棒大 しないよりまし 違うような気がする 金かけて

名古屋城：U65 改変 被熱劣化 上は人の導線
改修手法 全体に及ぶかどうかは別
前回三浦先生「この手法を天守台にするのは反対」
やむをえないのではないか？
樹脂 必要最低限は残した
鉄筋入れない 構造補強 正直なところ
一番石垣方針 U65劣化状況が思わしくない
現状変更の手續きに向ける 進めてよいか、もう一回諮って？
諮っていただく方向で

藤井：とりまとめでよいが、事務局と三浦さんで詰めてはどうか
また同じ話をすることに

瀬口：なぜ毎回同じものがでてくるのか不思議
うなづいているだけでは

上田：事前な協議ができていなく申し訳ない
ご指摘を踏まえて再度三浦先生のご指導を仰いで工法を提案したい

瀬口：文化財の保全 長期にわたって考えないと

14:25 再開

14:17

14:25

瀬口：再開

丸山：間詰石 三浦先生そのとおり
どういう石材を使うのか気になっている
観覧者のうらっかわ 見えない
間詰石の石材調査して
神津石 ごんた石といった
花崗岩われたのをほおり込むのではなく
エポキシ樹脂 手を上げようか逡巡
造園 見えないところ 奥の方はエポキシ樹脂が効いている

表面 白化してよくない

ジョアン半解体修理 堀内ちえみ先生がエポキシ樹脂

保存修理につかっていた

木材が白化 またエポキシ使う

酸素、紫外線弱い 上回るのが出てきていない

中は使わざるを得ない

表面はだめ

袋に入れた石 本当にいいのか？

本来は上からたたいて 簡易的な手法で

表面が酸素、空気、日光が当たる

なかなか進捗しない 石垣部会もある

三浦先生にも参画していただいて

間詰石 クスノキを切ったところ 腐った 間詰石をいれないと

石を袋に入れて？それで持つのか？

瀬口：次回再提出時に参考に

二の丸庭園修復

14:33

名古屋城：二之丸庭園修復

14:46

瀬口：質問は

小濱：地形 権現山 東側は兵舎 切り取った？

埋戻しして元に戻すのか？

余芳の東側は？

名古屋城：権現山修復 東側裾野が削平された

平成 20 何年かに修復 なめらかになっている

基盤整備を行いたい

余芳の東側 絵図「御城御庭絵図」

小濱：高さは推定？

名古屋城：高さは絵図から読み取れない

小濱：ありがとう

三浦：「御城御庭絵図」余芳の築山と、
図の築山の形が違う

名古屋城：基盤整備として示した

三浦：とりあえず作る？

名古屋城：実際に現場を見て形作る

小濱：植栽は？

名古屋城：基盤整備を今回提案した
植栽や灯籠 構造物は基盤整備ののち相談

瀬口：現状変更に伴うこと
池の補修、余芳
現状変更の手続きを進めて
園路改修計画

14：54

管理：他城郭の状況を見て
情報提供をして
あらためて検討
園路老朽化 排水構造物で段差 バリアフリー化
歴史的景観も考慮
正門-東門 本丸御殿-天守閣 お客が多い
どういったところをやり直すのか
他城郭 舗装
脱色アスファルト舗装
・表面表示 舗装のところ
今後の予定
詳細な設計に移りたい
園路の下に排水管 戦前に整備
調査を行いたい

15:04

瀬口：意見・ご質問は

丸山：園路改修 脱色アスファルトでよい

大型車が通るところ メッシュを入れればよい

排水管の現況 わからない いままで示されていない

実際に排水管生きているのか

排水構造物 図3左 真ん中に

堀に近い 水が来ない方がいい

図1 小さくてわからない この図だけはA3にして

全体の中で占める割合 計画までもって行って

名古屋城：強度 参考資料

劣化が進んでいる写真 表二の門

アスファルトの上に樹脂系砂利 車が通るところが劣化

強度をあげる施工

排水管 正門 から東に管 二の丸庭園の開渠に水

本丸御殿から北 合流管

北 雨水・汚水合流管

園路改修 本管+接続管

図3 左と右に管

排水構造物 コンクリート

舗装と砂利の間 皿型排水構造物 内堀に排水する

瀬口：他には

赤羽：1頁図3 舗装面の厚さ、深さ

地表面も文化財 掘削をどう考えるか

排水溝調査 改修計画 地表、地面の上状況

深さ気になる

名古屋城：舗装の厚み 1センチ豆砂利

5センチアスファルト

10センチ路盤施工

現在路盤まで改修？

基本は6センチ 遺構面まではいかないようにしたい

瀬口：ほかは よいか
引き続き検討を
これで終わり
オブザーバー 3名にコメント

小川：愛知県

石垣 私は美術工芸品 本丸御殿 ふすまの修理をした
50年100年に1回修理していく これまでもこれからもやっていく
伝統的なものを厳選して
文化財全般に言える
事細かに検討は承知 根本的な精神をもって
保存修理は1回で終わりではない
将来世代に禍根を残さないように

平澤：文化庁 事業的 2026年アジア的 名古屋市役所めやす

庭園の方 余芳
権現山造成 進んでいる姿を見てもらう
保存整備 余芳 引き続き調整を
午前中に舟運社会実験見た 名古屋城の中身をいろんな形をいかに伝えていくか
水堀、本丸、二の丸、御深井丸
外から実感できる
実施上の課題をクリアして
サービス提供

渋谷：文化庁 多岐にわたるご審議ありがとう

水堀関連遺構 新たな資料
発掘調査を通じて見つけ出されたもの検証
より精緻に
現状変更される よろしく調査を
石垣保存対策 何度かの議論 踏まえながら案を作って
有識者の意見を踏まえながら
親部会、部会 きちんとした考えのもとご指摘いただいている
園路改修 他城郭事例 どういうふうになっているのか
時間経過 どうなっているか踏まえながら
名古屋城の中にほかの検討事例 別の場所にあたりする
足元の遺構の観察も継続しながら
今年度多くの事業展開 来年度も展開

特別史跡を裏付ける資料群がある
丁寧に取り扱って事業を続けて

瀬口：好意的コメント

15：26

岡田：ありがとう

個別に先生にご相談 ご指導を
以上 ありがとう

15：26